

## 2024年 第2回「紅葉見頃予想」 ～見頃は全国的に遅くなる見込み 北日本では昨年より早いところも～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：渡邊 一洋、以下「日本気象協会」）は2024年10月2日(水)に、第2回「紅葉見頃予想」を発表します。



### 【全国各地の紅葉見頃予想】

9月の気温は、東・西日本では平年よりかなり高くなりました。北日本もかなり高くなりましたが、下旬には平年を下回る時期もあったため、北日本山間部を中心に順調に色づきが進み、すでに見頃を迎えている地点もあります。

この先10月の気温は高く推移しますが、日照時間は東・西日本の太平洋側では少なくなるでしょう。このため、昼夜の気温差が大きい日は少ないとみられます。また、北日本や日本海側の地域では、高気圧に覆われて、晴れて夜間は冷える日が徐々に増える見込みです。このあと11月になると東・西日本の太平洋側も晴れる日が多くなり、晴れた朝には冷え込む日があるでしょう。

これらのことから、今年の紅葉の見頃は北日本と東日本では平年より遅く、西日本では平年並みか遅くなるでしょう。

### 【今夏の猛暑と台風の影響は】

紅葉が鮮やかになる条件は夏に適度な暑さと日照、降水があること、台風の強風によって葉がダメージを受けていないこと、秋にも適度な日照と降水があり昼夜の気温差が大きいことなどが挙げられます。



今夏は、北・東・西日本では記録的な高温となりました。西日本では日照時間もかなり多くなり、降水量が少ない時期がありました。日照が過多になると、植物は葉焼けすることがあることから、西日本の紅葉スポットでは葉焼けの影響が心配されます。

また台風は、これまで台風5号・7号・10号が北・東・西日本に接近・上陸して大きな影響をもたらしました。特に台風10号では、九州で最大瞬間風速50m/s超が観測された所もあるなど、暴風が吹き荒れました。このため九州などでは葉の痛みなどが懸念されますが、それ以外の多くの地域では、現時点では台風の影響はほぼないとみられます。

### 【各地の紅葉見頃予想】

#### ■北日本（北海道・東北）

紅葉の見頃は、平年より遅いでしょう。

9月の気温はかなり高めに推移しましたが、下旬は平年を下回る時期がありました。このため山間部の紅葉スポットでは、昨年と比べ順調に紅葉が進み、すでに見頃を迎えている地点もあります。この先10月は、気温は高めに推移する見込みです。このため、10月後半以降に見頃を迎える紅葉スポットでは、紅葉の色づきはゆっくりと進むでしょう。

各地の紅葉は、道北の十勝岳温泉郷ではすでに見頃に、青森県の八甲田では10月前半に、道央の支笏湖温泉では10月後半、宮城県の松島は11月後半に見頃となる見込みです。

#### ■東日本（関東甲信・北陸・東海）

紅葉の見頃は、平年より遅いでしょう。

9月の気温はかなり高く推移し、特に中旬の最低気温は平年より5℃程度高くなりました。10月も平年より高めの傾向は続く見込みで、色づきは各地で平年より遅く進むでしょう。

各地の紅葉は、富山県の立山室堂平ではすでに見頃に、長野県の志賀高原では10月前半に、福井県の九頭竜峡や神奈川県箱根強羅公園、静岡県の大洞院では11月後半に見頃となる見込みです。

#### ■西日本（近畿・中国・四国・九州）

紅葉の見頃は、平年並みか遅くなるでしょう。

9月の気温はかなり高く推移し、特に中旬の最低気温は平年より5℃程度高くなりました。10月も平年より高めの傾向は続く見込みですが、11月に入ると高温傾向は和らぐ見込みです。西日本の多くの地域では、11月の気温の影響を最も受けやすいため、見頃が大幅に遅れるところは少ない見込みです。

各地の紅葉は、徳島県の雲辺寺や、大分県の九酔溪では10月後半に、福岡県の秋月城跡では11月後半、岡山県の岡山後楽園では12月前半に見頃となる見込みです。



## 【主な紅葉スポットの見頃時期】

紅葉スポット 地域別見頃一覧		今シーズン
	紅葉見頃 早い場所	紅葉見頃 遅い場所
北海道	道北・十勝岳温泉郷 見ごろ	道央・支笏湖温泉 10月後半
東北	青森・八甲田 10月前半	宮城・松島 11月後半
北陸	富山・立山室堂平 見ごろ	福井・九頭竜峡 11月後半
関東甲信	長野・志賀高原 10月前半	神奈川・箱根強羅公園 11月後半
東海	岐阜・乗鞍スカイライン 10月前半	静岡・大洞院 11月後半
近畿	兵庫・六甲高山植物園 10月後半	京都・円山公園 12月前半
中国・四国	徳島・雲辺寺 10月後半	岡山・岡山後楽園 12月前半
九州	大分・九酔溪 10月後半	福岡・秋月城跡 11月後半

2024年10月2日 発表 日本気象協会 tenki.jp

### 【tenki.jpの紅葉情報】

2024年「紅葉見頃予想」の詳細、代表地点以外の全国の紅葉スポットは、「tenki.jp 紅葉見頃情報 2024」にて公開しています。

<https://tenki.jp/kouyou/expectation.html>

また、各地の「色づき実況」の提供は9月下旬より開始しています。

パソコン : <https://tenki.jp/kouyou/>

タブレット・スマートフォン : <https://tenki.jp/lite/kouyou/>

本情報の無断での法人利用（プレスリリースでの引用や販促目的使用など）はご遠慮いただいております。商品 PRなどで法人利用をご検討の際はお問合せフォーム（<https://www.jwa.or.jp/contact/>）からご連絡をお願いします。



## 【2024年 紅葉見頃予想に関するよくあるご質問】

日本気象協会の紅葉見頃予想について、よくあるご質問をまとめました。

Q1：紅葉見頃予想の発表のスケジュールは？

A1：今年は3回発表を行います。第3回は10月31日(木)に発表予定です。

Q2：紅葉の見頃に気温はどのように影響しますか？

A2：紅葉の見頃は、秋（9～11月）の気温が低いと早まり、高いと遅くなります。

Q3：日本気象協会の紅葉見頃予想の手法は？

A3：気象庁が観測している、過去の各地のカエデの紅葉日と気温のデータとの相関関係を調べ、日本気象協会が独自に予測式を作成しています。その式をもとに各地の2024年の気温の観測値や、日本気象協会が予測する各地の今後の気温のデータを使用して、予想をおこなっています。

Q4：「紅葉の見頃」の基準は？

A4：カエデの木の大部分の葉の色が紅色になった状態を目安にしています。

Q5：標高の高い場所での紅葉の見頃は？

A5：標高の高いところでは、その地域の見頃予想よりも早く紅葉の見頃となると予想されます。

Q6：紅葉見頃予想はどこで見られる？

A6：日本気象協会コーポレートサイト (<https://www.jwa.or.jp/>) や、天気予報専門メディア「tenki.jp」 (<https://tenki.jp/>) にて無料で公開しています。

Q7：紅葉見頃予想は海外でも利用することができますか？

A7：紅葉は、広く世界中の方々に楽しんでいただきたい日本の季節現象です。海外での法人利用に関するお問い合わせに関しては、お問い合わせフォーム

(<https://www-ga.jwa.or.jp/contact/english/>) へご記入いただければ、利用方法など担当者からご連絡いたします。